
第34回全国公民館セミナー

開催要項

1. テーマ：

公民館のミライ ー未来の公民館をデザインしようー

2. 主催：公益社団法人 全国公民館連合会

3. 定員：100人（定員以上に達した場合は抽選）

※ 今後の新型コロナウイルスの感染状況により、政府や東京都などの対応を踏まえ、開催方法が変更となる場合がございますので、ご了承ください。

4. 会期：令和5年1月11日（水）～13日（金）

※ ご宿泊は、近隣のホテル等を各自で手配して下さるようお願いいたします。補助や幹旋などはしておりませんので、ご了承ください。

※ 原則3日間参加くださるようお願いいたします。

5. この研修の目的：

いま全国の公民館は、コロナによって大きく影響を受けています。この影響は公民館の歴史のなかでも、大きな出来事だったのではないのでしょうか。

今回のセミナーでは、コロナの影響を受けたあとの「公民館のミライ」像を探ります。公民館以外の実践や専門家からの助言も踏まえて、公民館の方向性をみんなで検討し、各地で活躍できる新しい公民館像を再提案することを目的としています。

6. 会場：丸の内マイプラザホール

〒100-0005 東京都千代田区丸の内2丁目1-1 明治安田生命ビル4F

※JR 東京駅 丸の内南口より 徒歩 5 分

JR 有楽町駅 国際フォーラム口より 徒歩 5 分

地下鉄千代田線二重橋前〈丸の内〉駅 3 番出口直結



7. プログラム（予定）

※内容は、予告なく変更することがあります。

（最新情報は、全公連のホームページをご確認ください）

12 / 15（木） 14：00～16：00

（0）Zoom で集まる**事前オリエンテーリング**【できるだけ参加お願いします】

セミナーが始まる前に、**オンライン上でオリエンテーション**をおこないます。このセミナーで学べること、どのような講師が登壇し、どのような講義をするのかなどを説明します。各講師からのビデオメッセージも流します。

せっかく、対面でおこなわれるセミナーです。セミナーが始まってからの交流だけでは、関係性も深まりません。より充実したセミナーとするために、事前にネット上で交流などをします。

司 会：亀丸翼さん（玉名市横島町公民館主事）

原口麻里奈さん（玉名市中央公民館主事）

【内容（予定）】

- ・ 3 日間の簡単な説明とねらい
- ・ 登壇する講師の方たちからビデオメッセージ
永田宏和さん、饗庭伸さん、
アサダワタルさん、三瓶千香子さん（予定）
- ・ グループワーク



司会紹介

■**亀丸 翼（かめまる つばさ） 玉名市横島町公民館主事**

■**原口 麻里奈（はらぐち まりな） 玉名市中央公民館主事**

公民館に異動し（亀丸は5年前、原口は4年前）、公民館の楽しさに目覚め、現在は公民館活動に日々熱心に取り組んでいる。ふたりとも昨年度の社会教育主事講習にて社会教育士資格を取得。第31回全国公民館セミナーにも参加。

玉名市の歴史や防災など多様なテーマで動画を制作し、YouTube に公開。それらの取組が、第4回全国公民館インターネット活用コンクールにおいて特別賞を受賞。令和4年度には全国の公民館職員を対象に、Zoom を活用した「オンライン座談会」を初めて玉名市で主催し、事例発表と司会進行役を務めた。それをきっかけに以降も、公益社団法人全国公民館連合会主催

のオンライン座談会で司会進行役を務め、視聴者からは「同じ公民館職員目線でお話してくれるので親しみやすい」「明るく楽しい進行でとても聞きやすい」などと高い評価を得ている。

また、市長部局職員とともに社会教育とSDGsの観点から課題の把握と解決に向けた事業の企画をおこなう「社会教育×SDGs推進部会」を開催している。

1 / 11 (1日目)

司会 (全日程)

亀丸翼さん (玉名市横島町公民館主事)

原口麻里奈さん (玉名市中央公民館主事)

(1) シンポジウム (13:15～16:15)

「公民館のミライを描こう」

公民館の学際的な分野で活躍中の方々にご登壇いただき、ポストコロナの公民館ビジョンを展望します。

公民館や社会教育のなかだけで公民館のことを議論していても、外へは広がっていきません。社会教育分野ばかりでなく、まちづくり学や地域学などの分野でも、コミュニティづくり、地域づくりなど、これからの地域のあり方について、活発に研究や議論がなされています。

今回はそのような分野から学び、公民館のミライを描きましょう。

パネリスト

永田宏和さん (デザイン・クリエイティブセンター神戸センター長)

饗庭伸さん (東京都立大学教授)

アサダワタルさん (アーティスト、文筆家、近畿大学特任講師)

コーディネーター

景山良一さん (飯南町赤名公民館主事)

■ 永田宏和（ながた ひろかず）

デザイン・クリエイティブセンター神戸センター長、NPO 法人プラス・アーツ理事長

企画・プロデューサー。1993 年大阪大学大学院修了後、株式会社竹中工務店入社。2001 年、まちづくり、建築、アートの 3 つの分野を柱とする企画・プロデュース会社「iop 都市文化創造研究所」を設立。2006 年「NPO 法人プラス・アーツ」を設立後、クリエイティブな新しい防災教育プログラムを多数開発し、国内外に展開。2012 年デザイン・クリエイティブセンター神戸（KIITO）の副センター長に就任し、「+クリエイティブ」をコンセプトに、神戸市及び企業と協働し、さまざまなジャンルの社会課題解決に取り組む。2021 年 4 月よりセンター長に就任。



主な企画・プロデュースの仕事に、都市キャンペーン型アートイベント「水都大阪 2009・水辺の文化座」、楽しく学ぶ防災訓練プログラム「イザ！カエルキャラバン！」（2005 年～）、子どもがつくる子どものための夢のまち「ちびっこうべ」（2012 年～）、男性高齢者の社会参画と生きがいづくりをテーマとした「男・本気の料理教室」（2015 年～）、地域の多世代交流のためのプラットフォーム「ふれあいオープン喫茶」（2011 年～）、使われなくなった街区公園再生プログラム「仮設のピザ釜がある公園」（2016 年～）、神戸市のシビックプライドプロジェクト「BE KOBE」（2017 年～）などがある。



兵庫県生まれ。東京都立大学都市環境学部教授。専門は都市計画・まちづくり。人口減少時代における都市計画やまちづくりの合意形成のあり方について研究すると同時に、実際のまちづくりに専門家としてかわり、そのためのワークショップや技術開発も行っている。専門は都市計画・まちづくりで、主に市民参加手法、人口減少時代の都市計画、震災復興のまちづくりなどを研究している。

主な著書に『自分にあわせてまちを変えてみる力』『コミュニティによる地区経営』『都市をたたく』『シティ・カスタマイズ 自分仕様に「まち」を変えよう』『まちづくりの仕事ガイドブック：まちの未来をつくる63の働き方』『素が出るワークショップ：人とまちへの視点を変える22のメソッド』『都市の問診』など多数。

**■アサダワタル(あさだ わたる)****アーティスト、文筆家、近畿大学特任講師**

撮影：加藤甫さん

音楽などの表現行為をきっかけに、市街地や復興住宅、福祉施設や学校など様々な生活現場に赴き、「これまでにない他者とのつながりかた」を実践・研究・提案している。「アート×社会活動」が専門で、自称“文化活動家”。2000年代にドラマーやソロミュージシャンとしてキャリアを始め、地域づくりに関わるNPOや寺院に勤めた後、2010年代から市民参加型のアートプロジェクトの演出家として各地で活躍。2016年に滋賀県立大学大学院環境科学

研究科にて、音楽によるコミュニケーションデザインにまつわる論文で博士号（学術）取得。2022年より近畿大学文芸学部文化デザイン学科にて現職。

アサダ氏の提唱する「住み開き」という活動は、自宅などのプライベートな空間の一部を、他者に解放する活動やその拠点のこと。このような活動がもっと広がれば、日々の暮らしから文化を発信する人が増え、もっと面白い社会になるのではという思いで、「住み開きアートプロジェクト」を継続。

著作ほか作品に『住み開き増補版 もう一つのコミュニティづくり』、『想起の音楽 表現・記憶・コミュニティ』、『ホカツと家族 家族のカタチを探る旅』、『表現のたね』、『コミュニティ難民のススメ 表現と仕事のハザマにあること』、『アール・ブリュット アート 日本』（編著）、『福島ソングスケイプ』（CD作品）など多数。

■景山 良一（かげやま りょういち） 飯南町赤名公民館主事

水稻・野菜苗育苗、JA職員（営農指導）、自動車整備を経て、現在公民館主事 10 年目。異動前の頓原公民館では小さな拠点づくりのための事業内で、地域住民と頓原地域の地域資源について考えるワークショップを開催し、ワークショップで出てきた地域資源を一冊にしたフリーペーパー「とんばらぼん。」を製作。また、地域の困りごととして上位に挙がった「健康・交通・買い物」について包括的に解決するため関係部局、事業所と連携した送迎付き『長生き体操』『買い物支援』を実施し、事業所の事業として現在でも引き継がれる。子ども対象事業を利用していた若者世代を集め、ファシリテーターとして関わりながら若者世代がやりたいことを地域で実現できる場づくりなど、いろいろな切り口で地域住民が地域参画する機会を創出している。



個人としては“活動写真弁士”の顔も持ち、地元小学生の指導も行っている。現在の夢は、小学生が書く“将来の夢”欄に「公民館主事」って書いてもらえるような公民館主事になること。

（２）施策説明（１６：３０～１７：１５）

「文部科学省の公民館をめぐる動き」

講師：黄地 吉隆さん（文部科学省総合教育政策局地域学習推進課長）

文部科学省の公民館施策にかかわる最新の動向について、お話いただきます。

■黄地 吉隆（おおち よしたか） 文部科学省総合教育政策局地域学習推進課長

神奈川県出身。平成 9 年 4 月に文部省へ入省。

文化庁著作権課、科技庁計画・評価課係長、高等局大学課係長、内閣官房公造改革特区推進室参事官補佐、スポーツ局競技スポーツ課専門官、鹿児島県教委義務教育課長、生涯局政策課補佐、初等中等教育局企画官、文部科学大臣秘書官事務取扱、大臣官房総務課副長、高等局専門教育課長、内閣参事官などを歴任し、令和 4 年 7 月より現職。



(3) 講演(9:00~10:15)

「若者が公民館にかかわる！」

—短期大学と地域・公民館との連携—

講師：三瓶千香子さん（桜の聖母短期大学教授、桜の聖母生涯学習センター長）

桜の聖母短期大学は、地域の人向けに大学開放講座をおこなっており、その規模は全国でもトップレベルとされています。また三瓶ゼミは、公民館とタイアップした活動など、地域に開いた、とてもユニークな実践をおこなっています。それらの活動についてお話しいただきます。

■ **三瓶千香子（さんぺい ちかこ）**

桜の聖母短期大学教授



福島県郡山市生まれ。上智大学大学院（博士課程前期）修了。桜の聖母短期大学キャリア教養学科教授。

専門は生涯教育学。短期大学では、アクティブラーニングを研究しながら、生涯学習概論、教育原理など教育学、キャリア開発系科目、編入支援系科目を担当。社会活動としては、福島県生涯学習審議会委員、南相馬市教育振興基本計画策定会議の有識者委員、第8期中央教育審議会生涯学習分科会学習成果活用部会専門委員、郡山市教育振興基本計画審議会委員、福島県明るい選挙推進協会委員、福島市生涯学習を進める会、日本青年館評議員などを歴任。

現在、全日本大学開放推進機構監事、全国大学実務教育協会リカレント教育ワーキングチームメンバー、福島市国際交流協会理事、KFB 福島放送番組審議会委員、福島県立図書館協議会委員、福島市社会教育審議員、国見町くにみ学園構想策定委員、福島市産官学プラットフォーム事業「人生100年時代 学び直し」チーム座長を務める。その研究の軸としては、「人生100年時代、いかに学んでいくか」である。

(4) 特別講演 (10:30~12:00)

「紙片でつむぐ物語り」

CHIKU さん (切り絵作家)

最近「STEAM (スチーム)」と呼ばれる分野の教育に力を入れる国が海外では増えてきました。従来は、Science (科学)、Technology (技術)、Engineering (工学)、Mathematics (数学) の「STEM」でしたが、最近はプラスして Arts (芸術・教養) が加わり、「STEAM」となりました。将来どんな職業に就こうとも、この Science、Technology、Engineering、Mathematics の教養が必要ですが、人間の特徴である創造的な分野「Arts」を掛け合わせられるようになったのです。社会教育の分野でも「+アート」な教養が、これから必要なのではないのでしょうか。

CHIKU さんは「月刊公民館」の表紙を長く担当してくださっています。CHIKU さんの切り絵は海外でも評判で、インドの学校でも切り絵活動をおこなったことがあります。そんな日々の切り絵活動について、語っていただきます。また作品の展示や体験コーナーも設置する予定です。

■ CHIKU (チクウ)

切り絵作家

切り絵作家。色紙を中心とした素材を切り貼りして作品を制作。各媒体や製品のイラストレーション、展示、ワークショップ等を中心に活動。著書に『学校図書館を彩る切り絵かざり』シリーズ (少年写真新聞社)、『かわいい、ちいさな、手づくり雑貨 はじめてのウォールステッカー』 (ビー・エヌ・エヌ新社)、『大人のきり絵』 (エクスナレッジ) がある。『月刊公民館』表紙絵を、2009年4月号から担当している。



(5) 事例発表とワークショップ (13:00~17:30)

「公民館のミライをデザインする」

情報提供：宮城 潤さん（那覇市若狭公民館館長）

野嶋 京登さん（浜松市富塚協働センターコミュニティ担当職員）

横越知亜紀さん（高岡市立福岡公民館職員）

景山良一さん（飯南町赤名公民館主事）

ファシリテーター：亀丸翼さん（玉名市横島町公民館主事）

原口麻里奈さん（玉名市中央公民館主事）

コメンテーター：三瓶千香子さん（桜の聖母短期大学教授）

コロナ禍にあって、各地の公民館ではどのように対応し、どのような工夫をしてコロナに立ち向かったのか、現場の職員の方たちに、熱く語っていただきます。

また後半では、グループに分かれて、「公民館のミライ」をえがくワークショップをおこないます。





1972 年那覇市生まれ（復帰っ子）。2001 年「前島アートセンター」設立に参画、アートとまちづくりの活動にかかわる（2011 年まで活動）。2006 年社会教育指導員として那覇市若狭公民館に勤め、その翌年に非常勤館長、その後、一部業務受託団体事業責任者、指定管理者の館長と 4 回の職名変更を経て、若狭公民館勤務 17 年目。その間、文科省優良公民館表彰にて「最優秀館」に選ばれたほか、全国公民館連合会が主催する各コンクールにて、最高賞を 7 回受賞。

■野嶋 京登（のじま きょうと）浜松市富塚協働センターコミュニティ担当職員

地域住民とともに浜松版パーラー公民館「あおぞら協働センター」を開催し、幅広い世代間交流の提供や顔の見える関係づくりの一翼を担っている。アーティスト団体による体育館を会場にした「ワークショップ ヤー！ヤー！ヤー！」の開催にあたり、様々なサポートをし、地域住民とアーティストとの橋渡しを行い、成功に導いた。ごみ拾いボランティアの活動に感銘し、ごみ・環境・SDGs を考える「ごみゼロフェスタ」を開催した。その後、「佐鳴湖ごみゼロ推進キャラバン隊」を結成し、「三本の矢」で佐鳴湖のごみゼロを目指している。若者の地域づくりへの参画は、自分ゴトとして考えてもらうことや地域活性化のため重要と考えている。若者ボランティア「コミュニティ・アシスタント」制度を確立し、イベントの協力や「アオハル音楽祭」などを行った。



地域コミュニティが希薄になった現代において、活性化策は「地域コミュニティの原点は楽しい時間を共有すること」と思っている。浜松ケーブルテレビに多数出演し、浜松市のナンバー1 コミュニティ担当職員を決める「コミ担アワード 2021」最優秀賞を受賞した。



子育てをしながらガンバル公民館職員。公民館の仕事に魅了され、指導員（会計年度任用職員）という立場でありながら、コロナ禍での職員たちのつながり不足を感じ、インスタを通じて全国の公民館職員に呼びかけ、職員のネットワーク化に尽力。全国の多くの公民館をつなぐ「インスタでつながる公民館オンライン交流ネットワーク」をつくる大きな原動力となった。

その後、ネットワークでつながった公民館の、子どもたちをオンライン上で交流する「どきどきドキドキ全国子どもネットワーク」などの活動につながっていった。



1 / 13（3日目）

（6）ミライをデザインするワールドカフェ（9：00～12：00）

2日目のワークショップの答え合わせとなるようなワールドカフェをおこない、研修から帰ったら、公民館ですぐ実践でき、役立つような「おみやげ」をつくります。さらにゲスト4人による「超ミライ型公民館」の提案もあります。

ゲスト：宮城 潤さん（那覇市若狭公民館館長）

野嶋 京登さん（浜松市富塚協働センターコミュニティ担当職員）

横越知亜紀さん（高岡市立福岡公民館職員）

景山良一さん（飯南町赤名公民館主事）

ファシリテーター：亀丸 翼さん（玉名市横島町公民館主事）

原口麻里奈さん（玉名市中央公民館主事）

8. 参加資格

- (1) 各都道府県公連から推薦を受けた者
- (2) その他、全国公民館連合会会長が認めた者

9. 参加費 無料

10. 参加方法

各都道府県公連から推薦をいただいた方のなかから、参加者を決定いたします。

※ 推薦方法は、都道府県公連によって異なりますが、全国公民館連合会へは必ず 11月30日(水)までに 推薦をお願いします。

※ 全国公民館連合会への直接の参加申込みは、原則として受け付けておりません。

※ 今後の状況によっては、開催方法が変更になる可能性があります。開催方法については、遅くとも年内には決定し、直接またはホームページ等でお知らせいたします。

※ セミナー参加者相互の交流を深めるため、Zoom にて事前オリエンテーリングを実施します。そちらもできるだけ参加してくださいようお願いします。

※ 今回の講義は、編集したうえで、YouTube でも動画配信予定です（なお、シンポジウムや講義のみ）。参加できない方は、そちらをご視聴ください。なお、配信日については後日ホームページでお知らせいたします。

1 1. スケジュール

1 日目

12:30—	受付開始
13:00—13:10	開講式
13:15—16:15	シンポジウム「公民館のミライを描こう」
16:30—17:15	文部科学省施策説明
17:15—17:45	オリエンテーション
18:00—20:00	情報交換会

2 日目

8:50— 9:00	オリエンテーション
9:00—10:15	三瓶千香子さん講演
10:30—12:00	CHIKU さん特別講演
12:00—13:00	昼食
13:00—17:30	事例発表とワークショップ
17:30—17:40	オリエンテーション

3 日目

8:50— 9:00	オリエンテーション
9:00—12:00	ミライをデザインするワールドカフェ
12:00—12:10	閉講式

1 2. 参加にあたって

- (1) 体温が37.5度以上の方、体調が優れない方、検温を拒否する方の参加はお断りしております。
- (2) 施設内では、できればフィルター性能の高い不織布マスクの、鼻にフィットさせたしっかりとした着用をお願いいたします。
- (3) コロナワクチンの接種をなるべく済ませてから、参加をお願いいたします。
- (4) 「3密」を避け、「人と人との距離を確保」、「マスク着用」、「手洗い」、「消毒」をはじめとした感染対策をしながら研修会を実施いたします。
- (5) 原則、全日程の参加をお願いします。
- (6) 会場となる「丸の内マイプラザホール」の詳細や概要、アクセス方法などは、ホームページ (<https://tokyo-marunouchi.jp/ja/facilities/252>) にてご案内しておりますので、ご確認ください。
- (7) その他、持ち物などの詳しいご案内については、参加者に個別にご案内します。
- (8) 何かご相談、ご不明な点がございましたら、下記までお気軽にご連絡ください。

1 3. お問い合わせ

公益社団法人 全国公民館連合会事務局

担当：村上英己（むらかみひでき）

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-16-8

電話：03-3501-9666／FAX：03-3501-3481

E-mail：murakami@kominkan.or.jp